

# 小規模企業共済資産 平成 27 年度運用状況に対する「資産運用委員会」の評価

平成 28 年 7 月

独立行政法人中小企業基盤整備機構 資産運用委員会

独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下「機構」という。)に設置された外部の有識者で構成する資産運用委員会は、平成 28 年 6 月 23 日に開催した同委員会において、機構事務局より平成 27 年度運用状況の報告を受けて、「小規模企業共済資産運用の基本方針(以下「基本方針」という。)」等を踏まえ審議し、運用の評価を以下のとおり取りまとめ公表する。

平成 27 年度 運用概況	評 価
<p>1. 運用全般の概況</p> <p>(1) 平成 27 年度上半期は、円安進行や企業業績の改善期待から国内株式を中心に堅調に推移するも、8 月中旬以降は中国景気減速や米国利上げの警戒感から世界の株式市場は大幅に調整した。</p> <p>(2) 下半期は、上半期の大幅調整からの戻りもあったが、年明け後の中国株式の急落や原油安、円高などの悪材料が重なり、1 月末には日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したにもかかわらず、総じて、世界の株式市場は、再び大きく下落した。</p> <p>(3) 資産運用の基本方針に基づき、安全かつ効率的な運用を基本原則とし、その基本ポートフォリオは、長期的に収益を安定的に確保するとともに、共済金の支払いに必要な流動性を確保(運用資産の約 7 割を満期保有債券で安定的に運用し、市場運用で時価評価の対象となる委託運用資産の割合は 2 割程度)。</p> <p>(4) 平成 27 年度は、満期保有債券利息を中心とするインカムゲイン 1,023 億円に対し、信託運用損のキャピタルロス 867 億円を計上。全体では <u>156 億円の運用収益をあげ、運用利回りはプラス 0.18%</u>となった(過去 10 年の幾何平均運用利回りは 1.79%)。尚、<u>前年度末は 683 億円の利益剰余金があったが、今年度末は 25 億円の繰越欠損金となった。</u></p>	<p>1. 運用全般の評価のポイント</p> <p>・<u>運用の基本方針等に沿って適切に運用・管理がなされている。</u></p>

平成27年度 運用概況	評 価
<p>2. 運用資産ごとの概況</p> <p>2-1. 自家運用資産</p> <p>(1) 国内債券(簿価)</p> <p>満期保有目的で、5年、10年、20年の目標年限債券で構成するラダーに基づき、毎月計画的に取得(額面 4,367 億円、額面加重平均クーポン 0.789%)。取得債券は、国債、地方債、政府保証債、財投機関債、社債、金融債。</p> <p>平成 27 年度末の保有残高は 6 兆 278 億円で、運用資産の 68.8%を占め、毎年度安定した運用収益を確保。平成 27 年度の運用利回りは 1.53%(前年度 1.60%)。</p> <p>(2) 融資経理貸付金</p> <p>小規模企業共済契約者に対する貸付制度の資金として、融資経理へ年 1.0%で資金融通。平成 27 年度末残高は 3,451 億円で、運用資産の 3.9%を占める。</p> <p>(3) 生命保険資産</p> <p>元本及び予定利率が保証される一般勘定団体年金保険で運用(予定利率 1.25%)。平成 27 年度末の資産額は 3,269 億円で、運用資産の 3.7%を占める。平成 27 年度の保険事務費控除後の運用利回りは、1.86%(前年度 2.35%)。</p>	<p>2. 運用資産ごとの評価ポイント</p> <p>2-1. 自家運用資産</p> <p>・運用の基本方針等に沿って適切に運用されている。</p>

平成27年度 運用概況

評 価

2-2. 委託運用資産(国内株式、国内債券(時価)、外国株式、外国債券)

2-2. 委託運用資産(国内株式、国内債券(時価)、外国株式、外国債券)

平成27年度は、世界的な株式市場の調整と円高から、委託運用資産全体の収益率(報酬控除前時間加重収益率)は▲4.70%(前年度は+17.01%)となった。

・運用の基本方針等に沿って適切に運用されている。

一方、ベンチマーク収益率は▲3.79%(前年度は+17.11%)となり、超過収益率は▲0.91%となった。これは、相対的にパフォーマンスが良好であった国内債券のアンダーウェイト及びパフォーマンスが劣化した国内株式のオーバーウェイトにより資産配分効果がマイナスとなったこと、外国株式において中国を中心とした新興国株式市場の下落によるマイナスの影響があったこと、外国債券において一般債のスプレッドが拡大したこと等によるもの。

・リスクテイクがやや低いアクティブファンドが見られたので、アクティブ運用のリスクテイクについては引き続き注視すること。

・資産配分効果が比較的大きかったため、リバランス・ルールの見直しについて検討すること。

資産区分	収益率	ベンチマーク	超過収益率
国内株式	▲10.11%	▲10.82%	0.71%
国内債券(時価)	5.44%	5.40%	0.04%
外国株式	▲9.97%	▲8.64%	▲1.33%
外国債券	▲2.94%	▲2.74%	▲0.20%
運用ファンド全体	▲4.70%	▲3.79%	▲0.91%

【補足】 小規模企業共済で採用している各運用資産のベンチマークは、以下のとおり。

- ・国内株式:TOPIX(配当込み)
- ・国内債券:NOMURA-BPI(総合)
- ・外国株式:MSCI-KOKUSAI(配当再投資、GROSS、円換算)
- ・外国債券:WGBI[シティ世界国債インデックス](除く日本、円換算)